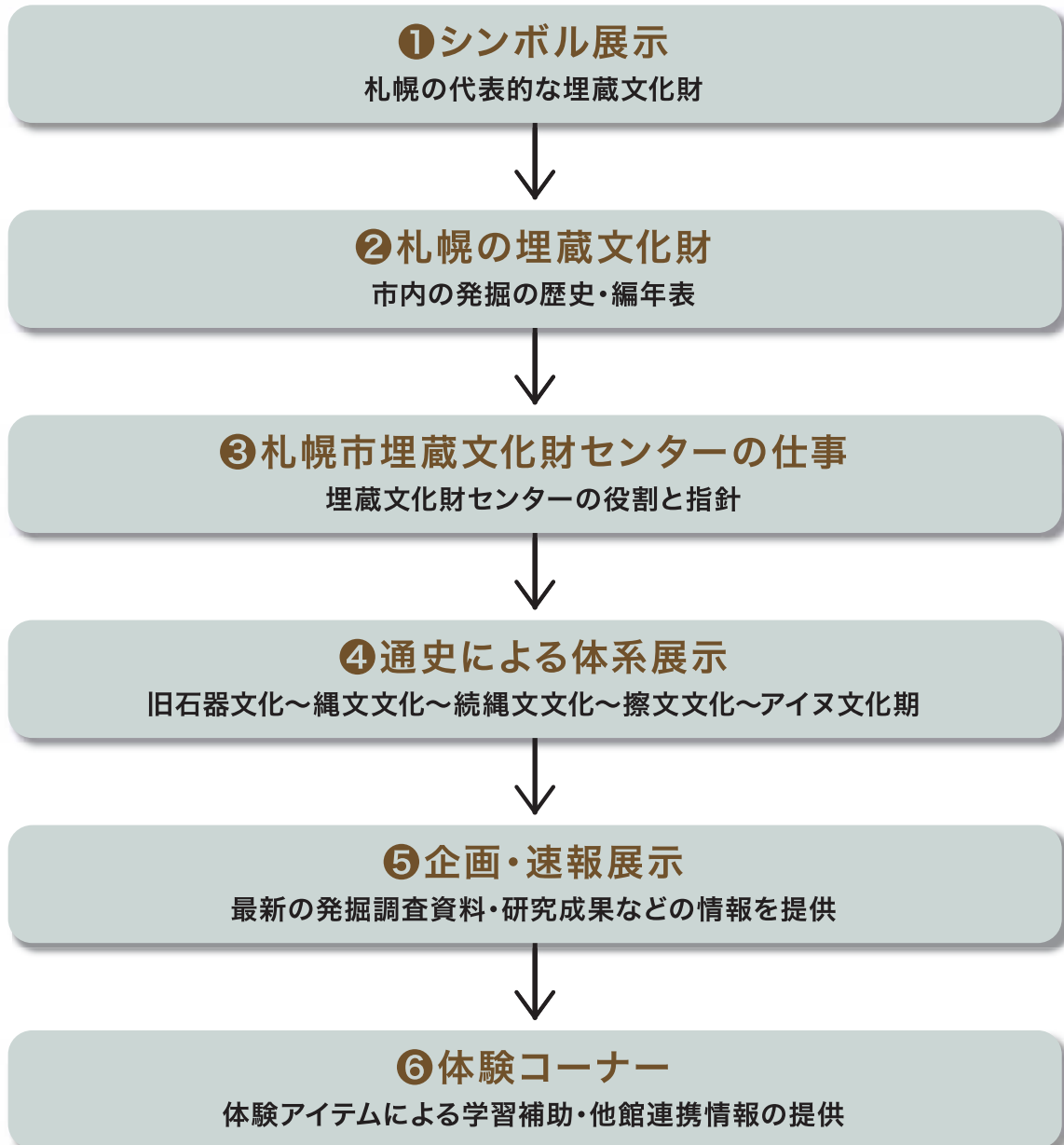


# 埋蔵文化財展示室更新の基本計画

## 1 展示計画の考え方

埋蔵文化財展示室更新基本方針に基づいて、既存の展示室空間を6つの空間に再構成し、展示スペースを増やすとともに展示品の刷新と充実を図ります。



## 2 展示構成のポイント

### ①シンボル展示

札幌市指定有形文化財を中心に、市内で発見された代表的な埋蔵文化財を象徴的に配置し、視覚的な効果を演出します。

### ②札幌の埋蔵文化財

札幌市における発掘調査の歴史を紹介するとともに、市内の遺跡分布や編年表をとおして、過去の空間的・時間的な概要を把握してもらい、札幌の先史文化を知るための入口へ導きます。

### ③札幌市埋蔵文化財センターの仕事

埋蔵文化財センターの設置趣旨、役割を表示するとともに、センターでの仕事を紹介し、文化財保護の理念、埋蔵文化財行政の意義を解説します。

### ④通史による体系展示

旧石器文化からアイヌ文化期まで、順を追って実物資料とグラフィック解説を配置し、札幌の過去数万年間を追体験してもらいます。また、可変展示を導入し、時代ごとの札幌の地域的な特色などを織り交ぜながら、歴史への理解を深めます。

### ⑤企画・速報展示

最新の発掘調査成果をいち早く紹介する市内発掘調査速報展や、収蔵資料を活用しながら様々なテーマで企画展示を行い、埋蔵文化財センターの活動や研究成果をトピック的にお知らせします。

### ⑥体験コーナー

パソコンを活用し、市内の遺跡紹介や、クイズ、土器づくりや石器づくりを疑似体験できる情報ツールを設置するほか、火起こし道具や土器パズルなどの体験アイテムを配置し、歴史への興味や学習意欲を促します。

また、関係他館などの情報を提供します。